



母に帰る日

実母相姦 静



<

22:30



次の
停車駅は……

：方面お乗り換えは
降りましたホーム
向かい側各駅停車……

電車乗った

お昼も出られなくて
イセタソにバター
買い行けなかった

ごめん





22:32



お昼も出られなくて
イセタソにバター
買い行けなかった

ごめん



母

かまいません



母

明日、仕事の後で
美容院に行くので
ついでに買ってきます



母

今夜は久しぶりに
ハンバーグにしました

ニョム





22:33



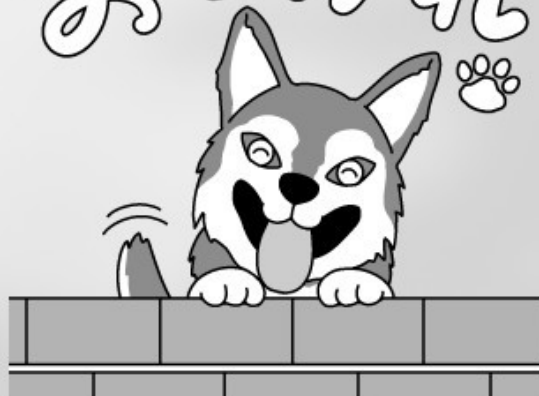
母

今夜は久しぶりに
ハンバーグにしました



母

おつかいね



おかえりなさい、
今日も遅くまで
大変ね

カチヤ

母さん、
ただいま

パタパタ
パタパタ

ご飯できてるから
着替えてらっしゃい

うがい手洗いも
忘れずにね

そんな、
子供じゃない
んだから



フツッ

そうね、それとも
先にお風呂にする？
その方が楽でしょ

……いや、いいよ

あがるの待ってたら
母さん寝るの
遅くなるでしょ

とにかく、ご飯お願い

ええ、すぐ
用意するわ

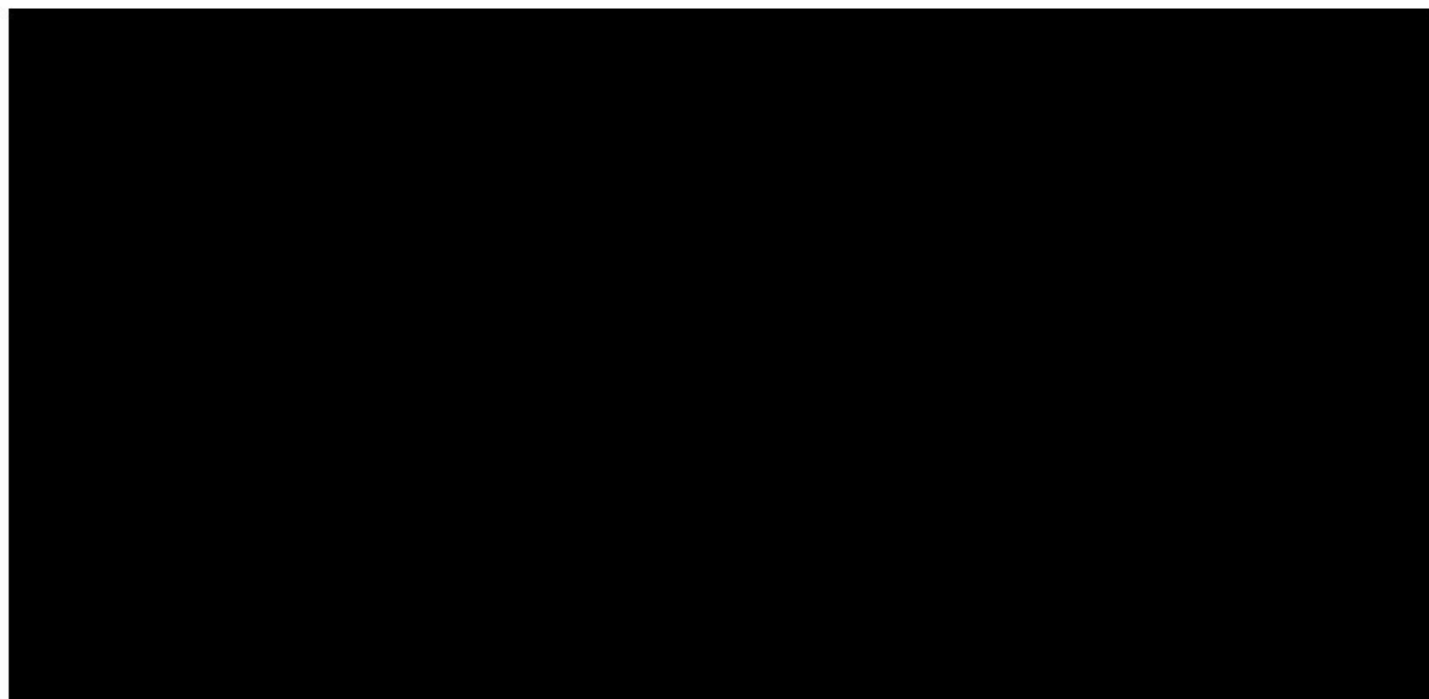
××



名前 静(しずか)
年齢 あなたより17歳上
身長 高め(あなたより少し低い)
職業 公務員(市役所勤務)
趣味 料理 買い物
読書(興味を引いたらジャンル
問わず、あなたの漫画も)
男性経験 ☐人

彼女は堅実な職業の両親の元に産まれた三人姉妹の次女です。まじめな性格で人当たりもよく、成績は常に上位の優等生でした。彼女は高1で同級生に告白され交際を始めます。同じ中学からの友達で、同じく成績は上位でしたが優等生というタイプでもなく、かといって不良まではいかない、普通の気の合う男子でした。彼女自身は性的な興味は薄い方でしたが、交際が続く内に相手の熱意と雰囲気によって準備もなく体を許し、そしてあなたを身ごもりました。

彼女は一度の過ちを見誤ったことを深く後悔しましたが、相手が何も告げずに転校したことを知った時、お腹の中の生命がとても不憫に、そして愛おしくなり、産むことを決意しました。家族は反対しましたがその決意は固く、出産後高校に戻って卒業した後は実家で過ごしました。やがてあなたが幼稚園に入る年齢になると公務員試験を受け離れた土地で就職し、あなたを連れて家を出ました。家族仲は良好ですが、ずっとあなたと二人暮らしです。



どう？おいしい？

あなた小さい頃は
とにかく玉ねぎがだめで、
でもハンバーグにすると

コホン、

うん、
おいしいよ

なんか…最近
手がかかってるね

だって、もうずっと
遅く帰ってきて食べて
寝るばかりじゃない

せめて
ご飯だけでも
って思ってる

別にいいのに、
母さんだって
働いてるんだし

今いる部署は
ほとんど残業ないもの、
児童課とか学校関係
なんて大変よ

激務なのに財政とかと
違って出世コースって
わけでもないし

ああ…昔は
遅かったもんね

なあに、若いのに
「昔」だなんて

いや、まあ…

クス、
クス、



それで……

お見合いの話、
考えてくれた？



…ねえ、何が
そんなに嫌なの？

まだ何も言っていないけど、
良いお嬢さんだと思うし、
せめて写真だけでも…

今その話は
したくない

母さん昔俺に
言ったじゃないか、
世間で言うほど孫とか
欲しいわけでもない…
俺が幸せならいいって

でもあなたも
家庭を持っても
いい年齢だし…

男の人はお金があれば
年を取っても結婚できるけど、
良い人ばかりが寄ってくるとは
限らないでしょう？

若いのか
どっちなのか

とにかく、
無理して
結婚なんか
したくない



でもあなた、最近
疲れてるみたいだし、
それになにか満たされて
いないっていうか……

あまり幸せそうに見えないの

でも……、いつも
朝とこの時間しか
あなたと話せないし

そう……

そりゃ今は忙しいからね、
でもここを乗り切れば
少しは早く帰れるし……

積みゲーもあるし、
やりたいことだって
いっぱいあるんだ

……母さん、俺が食うの
待ってないでもう寝なよ

明日早く出なきゃ
いけないとか
言っただけだった？

べつに今日明日で
何か変わるわけ
じゃないでしょ

俺も早く寝たいからさ、
洗面所使えないと困るし

ええ……じゃあ、
おやすみなさい



言い方がきつくは
なかっただろうか？

母さんの気持ちを
傷つけてないだろうか？

この後のお楽しみを
邪魔されたくない気持ち
が出ていなかっただろうか？

もうずっとこうだ、自分の欲望を
捨てられないとわかってから
母さんとうまく話せないことが増えた

本当はもっと言いたいことがあるのに

一番身近な、一番大事な人だから言えない

おやすみ、母さん



あら、洗面所いいわよ

うん

皿を洗って風呂場に向かうと
寝支度を終えた母さんと鉢合わせた

上がったら
夜更かししないで
すぐ寝なさいね

髪を下ろした母さんは
昔と少しも変わっていない、
心の奥が激しく疼く

わかってるって、
子供じゃないんだから

あの、母さん…

ちがう、俺はあなたの子供だ

なあに？

それ以外の何かに
なんてなりたくない

あの、さっきはごめん

なあに？そんな
泣きそうな顔して

えっ!? そんな
顔してる？

優しい声と言葉に
本当に涙が
こぼれそうになった

間近に香る、
母さんの甘い匂い

ええ、
小っちゃい頃と
おんなじ

ほんと、
おつきくなくても
変わってないわねえ

大丈夫よ、母さん
気にしてないから

今すぐ母さんを抱きしめたい

大きな胸にむせび泣いて、
赤ん坊みたいにおっぱいを吸いたい



でも大事なことから……
自分がどうしたいのか、
ちゃんと考えてね

あなたがちゃんと
考えてくれるなら、
お母さんは
それでいいから

うん……

じゃあ、おやすみ

ちゃんと
あったまって
寝るのよ

うん、おやすみ

持っていた着替えで
さりげなく勃起を隠して
寝室に向かう母さんの
後ろ姿を目に焼き付ける

あの大きなお尻で
童貞を捨てれたら
どんなに幸せだろう

でもそんな日は来ない

俺はあなたの子供だから

ちゅっ
ちゅっ

今日のおかずは
カットソーとスカート

母さんの匂いと
ぬくもりが
まだ残っている

このぬくもり
もう一度抱いて
もらえたら……

子供の頃みたいに……

母さんっ……!

母さんっ……

っちゅ
っちゅ
っちゅ

っちゅ
っちゅ
っちゅ

スタート
一時停止

つけおき
お急ぎ
標準
ソフト
毛布
ドライ
槽洗浄
槽乾燥

8分
3分
1分

3回
2回
1回

20分
15分
10分
5分

ふたロック 手動

脱水

コース

すすぎ

洗い

予約

55L
30L
42L
37L
20L

ビクビク

ぢゅ〜♡

母さんっ！

ぐちゃぐちゃ

もう何年も
こんなオナニーを
繰り返している

風呂好きの母さんは
帰宅してすぐ入るので
定時帰りでもしけないと
下着にはありつけない

昔はお風呂も一緒だった

お風呂が別になっても、
学校が終われば母さんが
帰るまでこっそりタンスの
ブラやパンツを楽しめた

今はたくさん働いて、
なんのご褒美もない

こんなに母さんを
愛しているのに

スタート
一時停止

毛布
ドライ

・8分
・3分
・1分

・3回
・2回
・1回

・20分
・15分
・10分
・5分

脱水

すすぎ

洗い

予約

水位

ふたロック 手動

55L
5
4L
37L
20L

はあっ……！
はあっ……！

はあ……

風呂入るか……

体を洗いながら、湯につかりながら、チンコを握って昔に見た母さんの裸体の像を必死にたぐりよせる

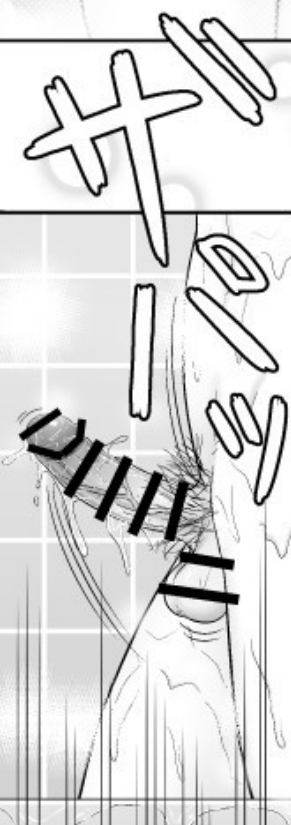
母さんの大きなおっぱいとお尻

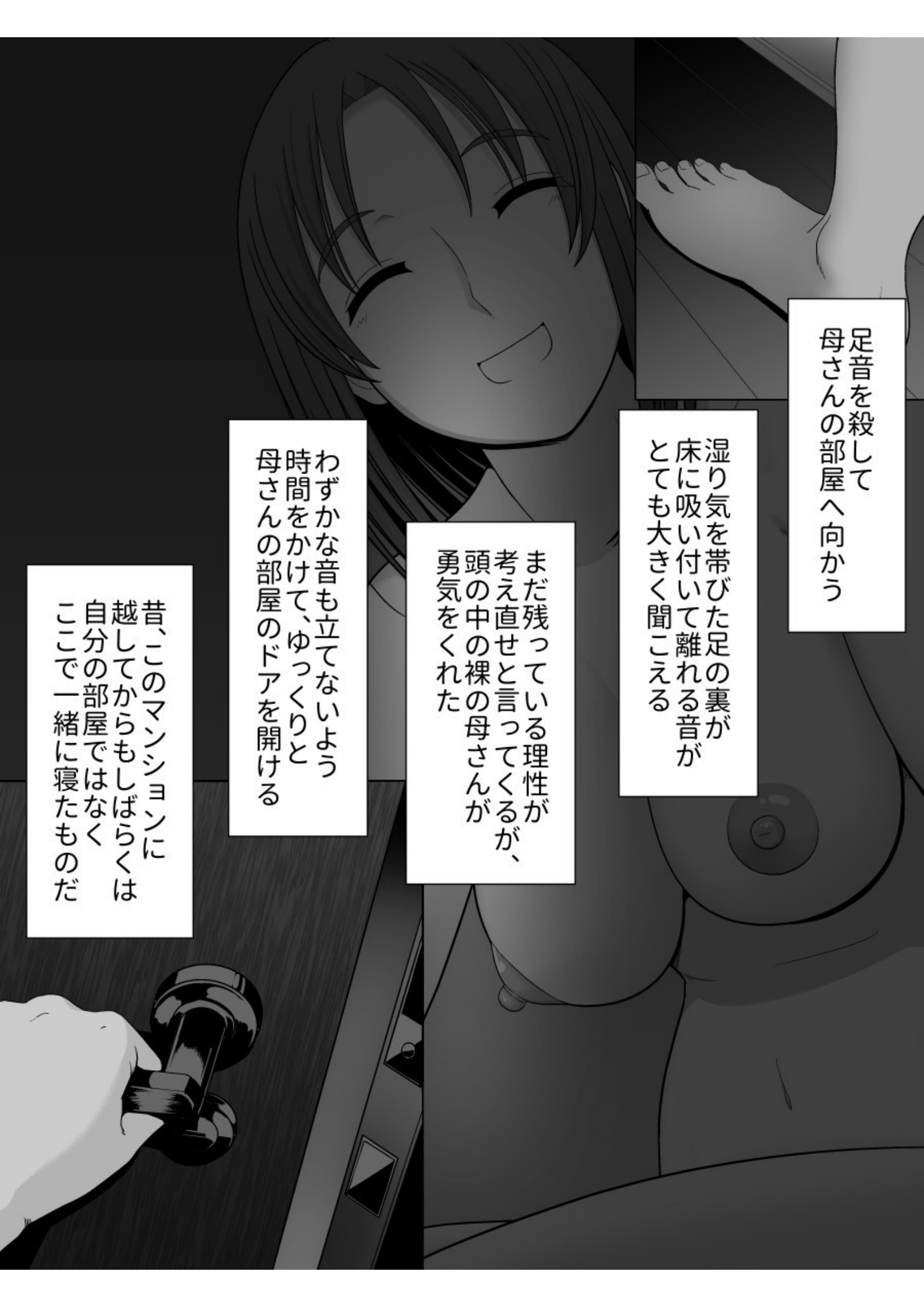
今思えば、毛の薄いあそこ

何も知らないくせに自分と違う母さんの股間にドキドキして、見ないようにしてた

この大バカ野郎！
今母さんの裸が見れたら一生その思い出と生きていくのに！

一度だけでいい！
もう一度、母さんの裸が見たい！





足音を殺して
母さんの部屋へ向かう

湿り気を帯びた足の裏が
床に吸い付いて離れる音が
とても大きく聞こえる

まだ残っている理性が、
考え直せと言ってくるが、
頭の中の裸の母さんが
勇気をくれた

わずかな音も立てないよう
時間をかけて、ゆっくりと
母さんの部屋のドアを開ける

昔、このマンションに
越してからもしばらくは
自分の部屋ではなく
ここで一緒に寝たものだ



丁番が大きくきしみ、
心臓が跳ね上がる思いで
なんとかドアを閉めた

(カーテンを開ける…? いや、
レールの音で起こしたら…
それにこう暗くちゃ何か
蹴飛ばすかもしれない…)

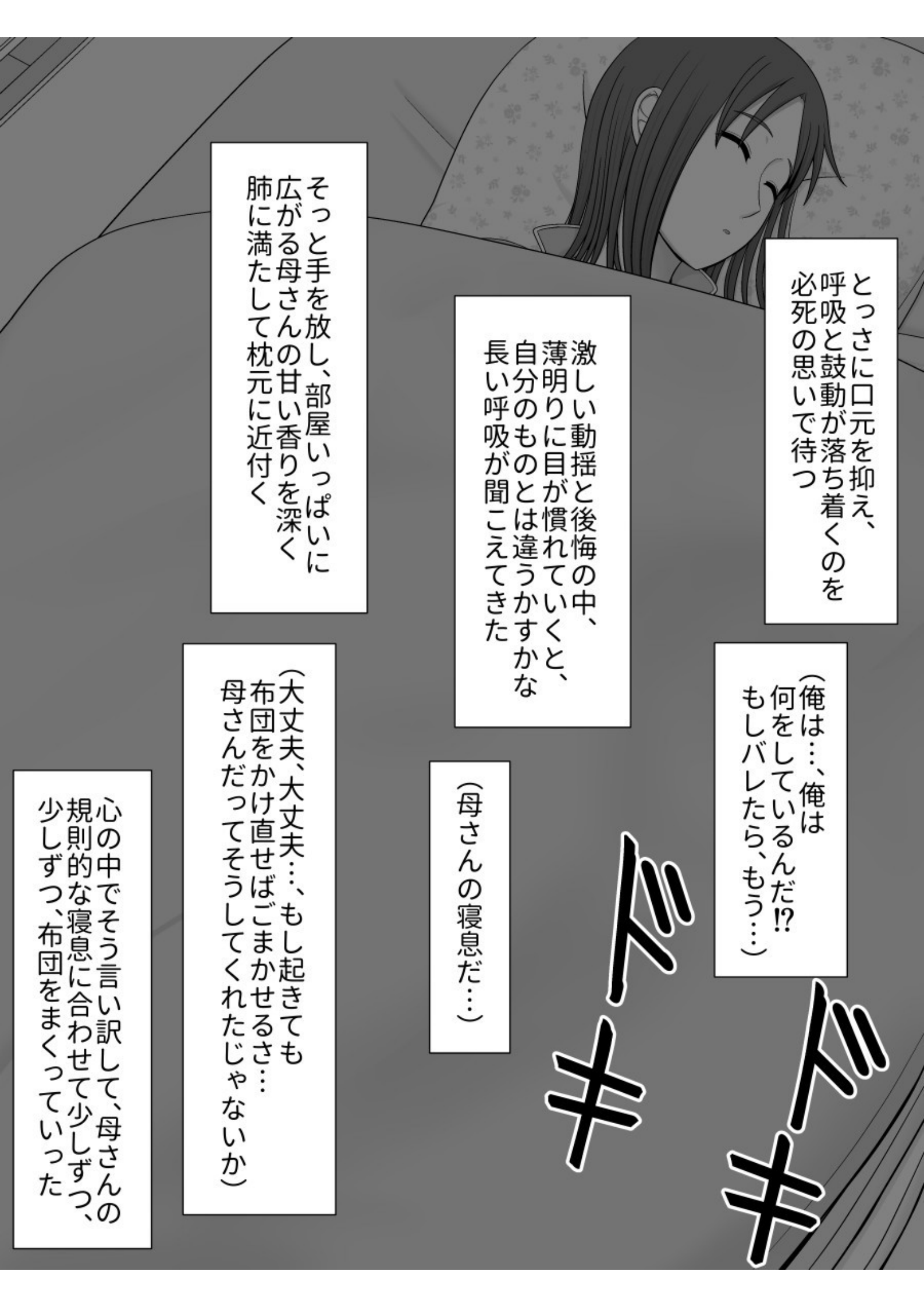
(なに…、たとえ起しても
「うなされてるような声でした」
とでも言えればいいさ…
親子なんだからそのくらい…)

高遮光のカーテンで
覆われた寝室は暗く、
自分の手すら見えない

(常夜灯のつまみは
どこだ…? これじゃあ
裸どころか顔も見えない…)

(あつた!
光量を最低にして…
よし…、点けるぞ…)

カチヤッ



とっさに口元を抑え、
呼吸と鼓動が落ち着くのを
必死の思いで待つ

激しい動揺と後悔の中、
薄明りに目が慣れていくと、
自分のものとは違うかすかな
長い呼吸が聞こえてきた

(俺は…俺は
何をしているんだ!?
もしバレたら、もう…)

(母さんの寝息だ…)

そっと手を放し、部屋いっぱい
広がる母さんの甘い香りを深く
肺に満たして枕元に近付く

(大丈夫、大丈夫…、もし起きても
布団をかけ直せばごまかせるさ…
母さんだってそうしてくれたじゃないか)

心の中でそう言い訳して、母さんの
規則的な寝息に合わせて少しずつ、
少しずつ、布団をまくっていった

ド
キ
ド
キ

(綺麗だ……)

パジャマの前が開いてると
気付いて思わず声が出そうに
なったが、何とかこらえて
ここまで持ってきた

見覚えのあるナイトブラに
守られた二つの美しい
ふくらみが呼吸に合わせて
穏やかに上下している

母さんが早出の日の朝、
他の洗濯物にくるまれた
このブラを見つけた時の
興奮がよみがえった

(唾で汚さないように
気を付けて吸って…、
腰が抜けるような
濃いのが出たよな…)

甘い記憶に誘われてしばらく目の前の
絶景をオカズに亀頭を愛撫していたが、
何とか射精欲をおさえて先走りまみれの
指をブラのボタンへ伸ばした

(今目を開けたら…、
でもこのまま
二度と母さんの裸が
見れないなんて!)

ハア
ハア

バレた時のことを考えると
怖くてとうとう涙が出てきたが、
もう引き返すなんてできない

(早く、早く…!)
おっぱいだけ
見れたらそれで…)



ぽん

!!

これが
母さんの味！
母さんの匂い！
母さんの感触！！

少し湿った、
柔らかい肉が
指に吸い付く…

おっぱいは
脂肪だから
冷たいけど
聞いたか…
あ、いい…

ああ…
この乳首に
むしゃぶり
つけたなら…

ンニ
ンニ

母さんも笑って…
俺の頭をなでて…

ぽろ
ぽろ

何とか未練を振り切り、
体を放して息を整えた

俺はもう一度布団を持つと
先ほどよりは時間をかけず、
だが静かに、母さんの体から
その覆いをはがしていく

おっぱいが露^{あら}わになって思わず
舐めてしまったが、これ以上は
本当に起してしまいかねない…
そうならもう終わりだ

後はブラを戻して…いや、駄目だ！
こんなに大きなおっぱいを起さずに
カップに収めるなんて不可能だ！

絶望にかられ、暗がりの中許しを
請うように母さんを見やると、
何か夢でも見ているのだろうか、
表情がかすかに歪んでいた

(母さんもHな夢を
見るのだろうか…
だとしたら誰と…)

(パンツは見れなくていい…
でもパジャマの上から
触ってわかるだろうか…)

確信が欲しかった…
夢の相手が誰でも、
この俺が母さんを
濡らしたのだと…





!?

うわっ

クワッ!!

あまりの衝撃に少し…
いや、結構出てしまった

自分の目が、
見ているものが
信じられない

（なんで…、なんで
パジャマもパンツも
はいてないんだ!?!）

（誰かが脱がした!?!
いや、それはない…
きっとその辺に
パンツがある筈だ、
まだ体温が…畜生!
暗くて見えない!）

うゝん……

（暑くて脱いだのか…?
いやいや、だからって
ノーパンで寝るなんて、
昔俺と寝た時の
母さんはそんなこと…）

（やばっ!）



ニム

!!

喜び、怒り、興奮：
ごちゃ混ぜの感情が
脳と心臓をかき回す

初めて見た母さんの秘所は
俺を産んだと思えないほど
綺麗で少女の様に可憐だった

だが先ほどまで
母さんはそこを
慰めていたのだ

描いた相手はきっと
俺ではないだろう：
顔も知らない父親か、
それとも別の：

今までだって考えたことはあった：
コブ付きとはいえ若くて綺麗な
母さんを男がほっとくわけがない、
そう考えるたび嫉妬の炎で頭が
おかしくなりそうだった

もし、もし今も俺に
隠れて他の男に
抱かれているなら…

ハア
ハア
ビク
ビク

そんなこと
許せない！

他の誰より俺が先に！
産まれた時から俺は！
母さんが好きなんだ！

母親を盗られてたまるか！
俺が！息子の俺が！
母さんを取り戻すんだ！

ヌル...



はい
侵入っ...た！

なか
これが母さんの膣内！
母さんのオマンコ…！！

オナホと全然違う…！！
柔らかいけどずっしりと
チンポに吸いついて…

何より…
あったかい…

一発抜いたのに、
気を抜くと今にも
爆発しそうだ…！！

……かあさん

お母…さん…

ハアッ

ハアッ

このままではマズい…

でも、でも、やめたくない！

俺の生きた証を…、
あなたが産み育ててくれた
俺の全てを刻み込みたい！



母さんっ！

母さんっ！

母さんっ！

母さんっ！

俺はここだよっ！
あなたとセックス
してるのは俺なんだよ！

おっ……！

おあっ……！

あう……！

他の男にできることは
俺だってできるんだよ！

だからっ……！

だから俺を見てよ！





え...、なっ!!

うそ、嘘っ!?

あな...、あなた、あなた...

あなた一体
何してるの!?

なんで、なんで、なん—

きやあっ!!

終わった

終わった

いいやその...

たゅっ

そんなに
動かなっ...

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

なんだって
なんだよ!!

終わった



母さんはずっと!
俺の母さんなんだ!!

は
ぐちゃ
ちゅ

だめよっ!

だめっ...!

このまま出して
母さんを俺の
ものにするんだ!

やめるもんか!

いいからっ...
やめなさっ...!

何を言っ...

母さんだっして
たんたろ!
俺じゃない
どこかの男と!

やめなさ...いっ...!

やめろ!!!

パン
パン

パン

パン
パン
パン



はあ……
はあ……

はあ……

母さんは
精を受けた
そのままの
姿勢で、
何も言わず
泣き続けた

実の母親の、
大きく口を
開けた秘所から
自分の精液が
流れ落ちている

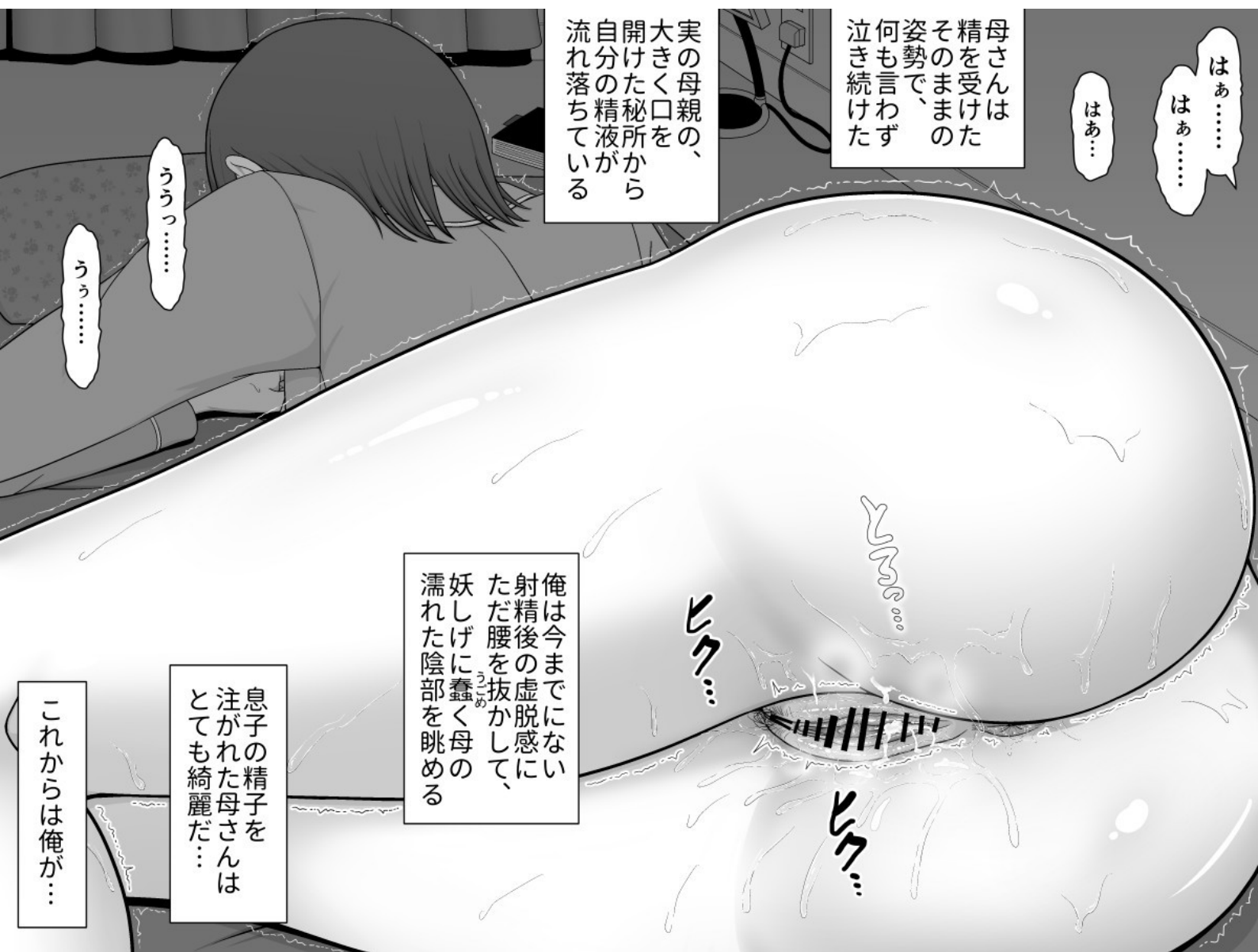
ううっ……

うう……

俺は今までにない
射精後の虚脱感に、
ただ腰を抜かして、
妖しげに蠢く母の
濡れた陰部を眺める

息子の精子を
注がれた母さんは
とても綺麗だ……

これからは俺が……





出てって……

え…

いいから！
出ていきなさい！！

母さんの本気の叫びを聞いた
俺は自らの行いがとてつもなく
恐ろしくなり、弾かれるように
自分の部屋へと逃げ帰った

(母さんが自殺して
しまいかもしれない…！)

狂おしい後悔の念と恐怖に
追い立てられながらも謝罪の
言葉など浮かぶはずもなく、
ドアに張りついて聞き耳をたて
様子を窺うことしかできない…

やがて力の無い足音がドア越しに
通り過ぎ、永遠に思えるほど長い
シャワーの音が途切れもなく続く
幾多の恐ろしい想像が頭によぎり、
それを必死に打ち消した

(もう二度とできなくていい！
だからどうか…！どうか！)

やがて水音が止まり、長い沈黙を経て
力無い足音が廊下を過ぎてゆく…

俺はその後、自室と母さんの部屋の
ドアを何度も叱られた子供の様に
往復して聞き耳をたて様子を伺った

そのうちにか細い寝息が…、全てが
変わる前と同じかすかな呼吸音が
聞こえると緊張の糸がぶつぷりと
切れて、夢も見ずに眠ってしまった

翌朝、いつも通りのアラームで目覚めて
恐る恐る台所に向かうと、いつも通りの
朝食にメモが添えられていた

「役所のイベントで先に出ます
」ミ出し忘れずに 母」

（そんなこと言ってたな…）

顔を合わせなくて少しだけ安心したが、
何も読み取れない短い文面に心がひどく疼いた

（怒ってるかな…）（怒っているならまだいい）

（傷つけたよな…）（…深く）

身支度を整えて椅子に腰かけ、
しめじのソテーをほおぼると、
何千回と食べたいいつも通りの
味付けに涙がこぼれた

今はただ、母さんに会いたい…



19:40



母

今日は早いね。
買い物はありません



母

おかえり



なんて謝ればいいんだろう……
そもそも俺に家に帰る資格が
あるだろうか……

でも母さんは
おかえりって……

……俺は最低だ、
あんなことをしたのに
許されたがっている

昨夜の母さんの叫びが
耳から離れず、仕事
全く手につかないので
早々に残業を切り上げた

びくびくしながら
帰るメッセを送ると
少しだけ遅れて
いつもと変わらない
返信が来る



カチャリ。

角を曲がる度に心臓の鼓動が痛いほど増して何度引き返そうと思っただかわからない

ただいま……

（子供の頃、悪戯やケンカを叱られるのが怖くてよく寄り道して帰ったっけ……）

なぜだろう、最近は何のこともばっかり思い出す

（残業で帰ってないことも多かったけど、学校から連絡がいくと大抵台所で無言で座ってるんだよね……）

おかえりなさい、
だいぶかかったけど
どこか寄ってたの？

えっ、あ、うん…

髪…切った？

今日行くなって
言ってたじゃない、
少し重くなってたの

ああ…、そうだったね

ご飯もう少しかかるから
たまには先にお風呂入って
ゆっくりしたら？

ああ、うん

上がったら
ちゃんと蓋してね

うん…



何だこれは…
どうして、どうして
何も言わないんだ

今は普通に接して
後で話すつもりなのか

それとも…、それとも
一時的の気の迷いとして、
何もなかったことに
しようというのか

俺は、俺はあなたを
レイプしたんだぞ！

チヤッ、チヤッ、
チヤッ、チヤッ、

理不尽な憤りと共に、
ずっと抑えつけていた
感触が強烈に蘇る

あれだけ何を言われるかと
怯えていたのに、今となっては
何も言ってもらえないのが
悔しくて、悲しくてたまらない

我ながらどうかしている…
禁忌を犯したことで頭が
おかしくなってしまうのか、
もともと狂っているのか、

涙が出そうだ…
(泣きたいのは母さんだろうに)
まともな男が実の母親に欲情
するもんか、……………そうさ、
まともじゃないならいっそ…



ガ
バ
ッ

あっ！
だ…だめよっ！

手を離し…

なんで何も
言わないんだよ

な、
何もって…

へえ…、あんなに
オマンコ濡らして
とぼけるんだ？

っ！お、親に
向かってそんな…

グ
リ
グ
リ

ム
ニ
エ

ム
ニ
エ

だって母さん、
昨日パンツ
はいてなかった
じゃないか

疲れてたから
オナニーしてそのまま
寝ちゃったんだろ？

いやっ、いやっ……！

俺もね、
よくやるんだ

いつも母さんに
Hなことをしてもらう
妄想で射精しててね、
すごくよく眠れるんだ

そんな、親子で……

でも俺が母さんの
おっぱいを妄想してる時に
母さんは他の男のチンコを
思い出してたんだよね

そんな、ちが……

グ
グ
グ
グ
グ

モグ

ハッ
ハッ

ヒッ
ヒッ

お、お願い話を…
きやつ！

そんなこと…

なんだ、もう
クロッチ越し
でもわかるくらい
濡れてるじゃん
あんな涼しい顔で
息子に襲われるのを
期待してたんだね

帰ってきた時…
あなた、すごく
泣きそうな顔
してたから…

…じゃあ何で
怒らなかったの

……パンツも
脱がすね



とろろ...

いやっ、いやあ...
舐めないで...!
見ないでえ!

親子でこんなっ
こんなの...

ハア

ああ

ハア

ビク

ビク

これくらい
いいじゃん

昨日もっと
すごいこと
したんだから

あれは...あなた
最近とても
疲れてたから...

あんなことは...
一時の気の迷いで...

これでも
そうかな

ブルン

ブルン

えっ...





ああ...あ、あ...あ...

おっ

おっ

お母さんのマインクモ

グチュ

グチュ

1p

1p

ねえ……ねえっ、
どうしちゃったの!?

昨日まであつ、
あん：なに良い子
だったの：に：

あーっ
あーっ
はーっ

昨日までであつたの…
あん…なに良い子
だったの…に…

だめー、だめよ！
おかあっ、お母さんの
言う…こと聞きな…さ…

だめえええつ!!



はあ…
はあ…

母さん…
どうだった？

俺の…息子の
チンポでも
セックス
できるんだよ

うう…

人生二度目の
セックス…

母さんへの
二度目の
中出し…

俺なら母さんに
寂しい思いなんて
絶対させない

だから…

最高だった、
メチャクチャ
気持ちよかった

何を…ばかなこと…

なのに
何だろう

もう…満足した…
でしょう…

離れな…さい…

なんだか、
ひどく寂しい





あっ！

さみしい

ガッ

きゃあっ！

さみしいよ

お母さん！

あっ！
だめっ…

さみしい

たぬ♡

たぬ♡

さみしいよ！
さみしいよ、
母さん！

ね、ねえ…
何のつもり…

戻してよ！
戻りたいんだ！

そんな…
今さら赤ちゃん
みたいな…

そんなに
吸ったって
何も…

幼稚園で
母さんの迎えを
待っていた…

ねえ…
……

二人でお風呂に入って
一つの布団で眠った…

…母さん、
服脱いで

えっ…、
だってもう…

あなたが
俺の世界の全て
だったあの頃に！

お願い…もう
乱暴したく
ないんだ

そんな…



チュウ♡

チュウ♡









肯定か諦めか、
母さんは何も
言わない

人生で
三度目の
セックス

母さんと
三度目の
セックス

息子に全てを
さらけ出した
母親の裸体は
とても綺麗だ

母さん、
セックスするよ…

俺のチンポ…

母さんが産んでくれた
チンポをオマンコに
入れるからね…

母さんにまた、
帰るから…

っふっふ…

ただいま、母さん…



体重を預けると
チンポが
ぬるりと
吸い込まれた

頑^{かた}な態度とは裏腹な
柔らかな膣肉に包まれ、
息子の帰りを優しく…
情熱的に祝ってくれる

あ、ああああ…♡

気持ちいい♡♡♡♡♡

ここが故郷…
ふるさと

ここが家…

ああ〜いい♡

母さんのオマンコ
吸いついてくるよ♡

チンコを優しく…
ぎゅっぎゅっ、て
抱っこしてくれる♡

気持ちいいよ
母さん♡♡

大好き♡

気持ちよくて
チンポ止まらん♡♡♡











母さんっ♡母さんっ♡

あひっ! あああっ!
もうっ...もうやめ...

俺
がんばる
からっ!

毎日母さんのマンコ♡
気持ちよくするからっ

そんな...こと...
がんばらないでい...

あなたは
普通のけっこ...
おね...がい...

母さん舌
出してっ舌っ♡

俺のファーストキス
母さんとキスっ♡

愛してるよ
母さん♡

愛してる♡

クチャッ♡

んああ...

だめっ...

クチャッ♡

親子で...
そんなこと...



親子
だからだよ！
母さんっ♡

親子だから
一つに
なれるんだ！

一緒に
イこうね！
母さんっ♡

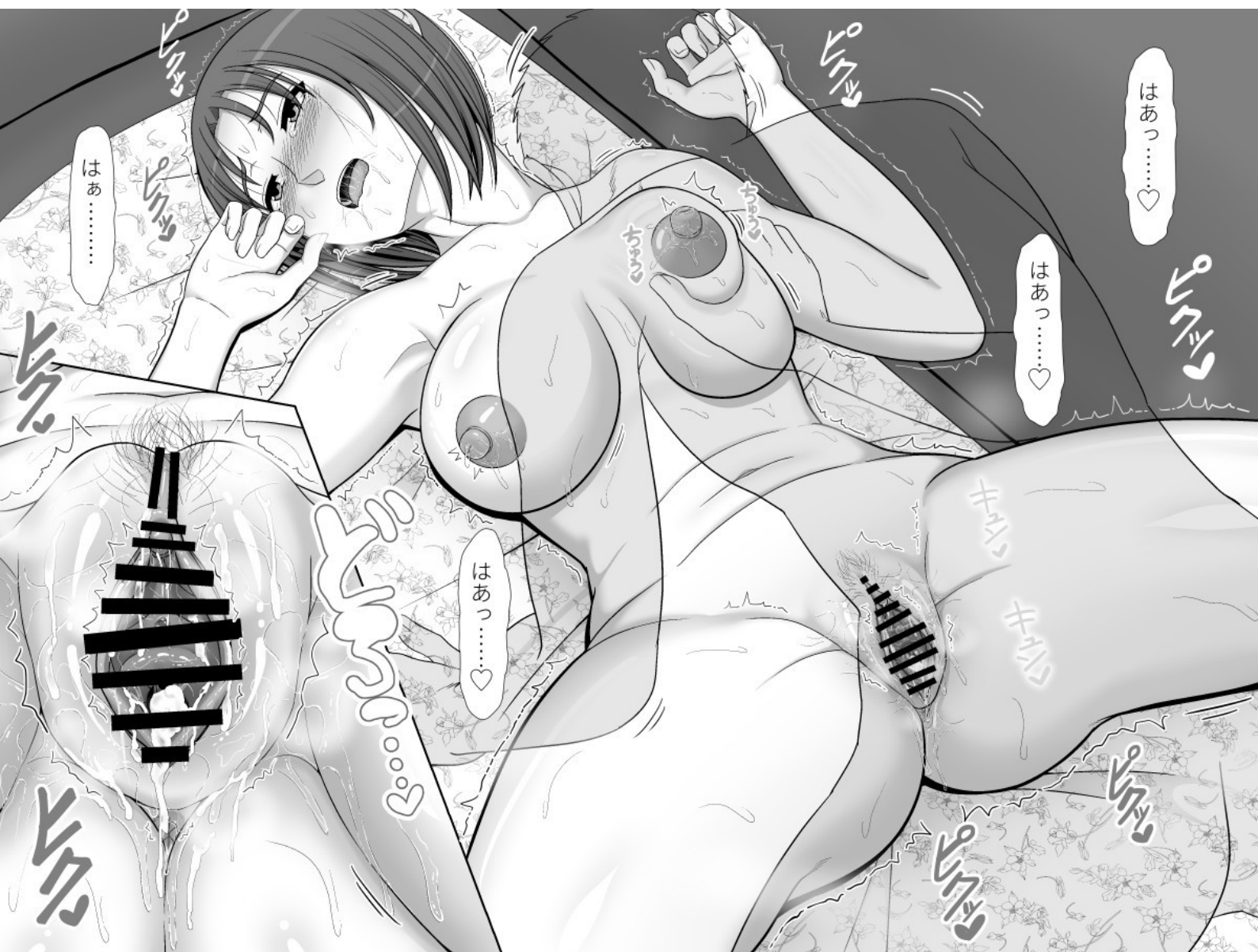
男は母親から産まれて！
また母親に帰るんだ！

息子にとって母親は
たった一人の女性なんだ！

おやこ
母子で一つに♡♡♡
一つになるう♡♡♡

だめだめだめ
だめだめだめ
だめだめだめ





はあ……

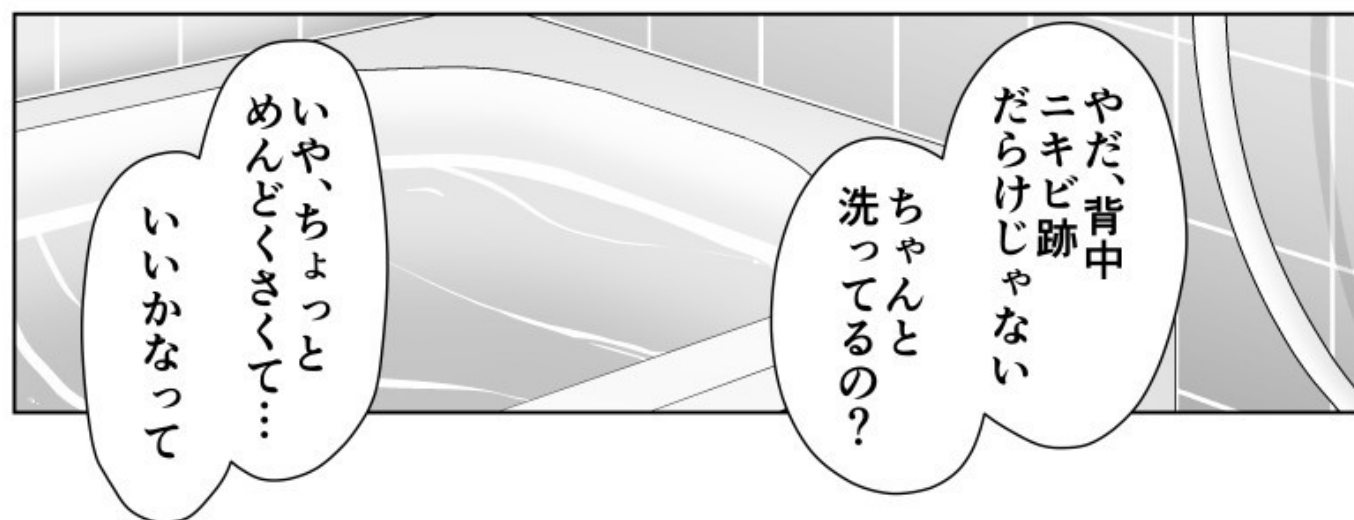
はあっ……♡

はあっ……♡

はあっ……♡

ど♡♡♡♡♡





だいじょうぶ、
だいじょうぶよ

お母さんは
ここにいますからね



End.



名前 静(しずか)
年齢 あなたより17歳上
身長 高め(あなたより少し低い)
職業 公務員(市役所勤務)
趣味 料理 買い物
読書(興味を引いたらジャンル
問わず、あなたの漫画も)
男性経験 1人→2人

彼女は堅実な職業の両親の元に産まれた三人姉妹の次女です。まじめな性格で人当たりもよく、成績は常に上位の優等生でした。彼女は高1で同級生に告白され交際を始めます。同じ中学からの友達で、同じく成績は上位でしたが優等生というタイプでもなく、かといって不良まではいかない、普通の気の合う男子でした。彼女自身は性的な興味は薄い方でしたが、交際が続く内に相手の熱意と雰囲気によって準備もなく体を許し、そしてあなたを身ごもりました。

彼女は一度の過ちを見誤ったことを深く後悔しましたが、相手が何も告げずに転校したことを知った時、お腹の中の生命がとても不憫に、そして愛おしくなり、産むことを決意しました。家族は反対しましたがその決意は固く、出産後高校に戻って卒業した後は実家で過ごしました。やがてあなたが幼稚園に入る年齢になると公務員試験を受け離れた土地で就職し、あなたを連れて家を出ました。家族仲は良好ですが、ずっとあなたと二人暮らしです。

あなたが十代の頃、自分に性的な欲求を抱いてることに気がついていましたが、母子家庭で育ったこと、兄弟もなく、小さい頃に仕事でたびたび寂しい思いをさせたことが原因と考えて、見て見ぬふりをしました。やがて自然と他所の子に関心がいくだろう、と。

彼女自身も健康な女性として性的欲求を持て余し気味でしたが、昔の苦い経験と、何よりあなたとできるだけ一緒にいてあげたいと思い、ずっと男性(見合い話や同僚)を遠ざけてきました。彼女は落ち着いたあなたにそのことを伝えて、「自分にも他人にも二度と乱暴しないこと」そして「必ず避妊すること」を条件に関係を続けることを許しました。息子と肌を重ねることへの心理的抵抗はまだありますが、「こうなった以上、これも母親の仕事なのかしら」と、できることは何でもしてあげたいと考えています。(オナニーの相手は「いない」そうです)

当CG集『実母相姦 静 -母に帰る日-』をご購入いただき誠にありがとうございます！うおおおおお！！実母最高ーーーー！！

・マザコン向けばかり出してきましたが巨女じゃないお母さんで本番ありは初めて描きました。しかも近親相姦の初回をちゃんと。大抵本番未満の性処理か、あっても肉体関係がすでにある所から始まる作品が多かったのが楽しんでいただけなら嬉しいです。

・お話がちゃんとあるやつで一人のヒロインをこれだけの長さで描いたことがなかったので色々足りないものもわかりました。このお母さんの続きを出すかは未定ですが、あっても全然違ったフォーマットになるかもしれません。そのままかもしれません。とりあえずは他ジャンルの同人を作りつつ新しい技法を試していきたいです。

・まだ名前はなかったのですがPixivに投稿した静さんは母乳が出てたので続きならそこをやりたいですね。妊娠ではなく母性で。

・それではまた別の作品でお会いしましょう。

とりまスレスパを再DLするサークル「ムーンライト・ダイナー」より
ご意見・ご感想お待ちしております。PixivID:1234121
X(旧ツイッター):@mldinerart2023

この作品はフィクションです。
実在の人物とは何の関係もありません。

この物語は犯罪を教唆するものではありません。
決してまねしないで下さい。

トラブルについては一切責任を負いかねます。ご了承ください。

登場人物は全て18歳以上です。

18歳未満の方の閲覧を禁じます。

この作品の全ての著作権は当サークルが所有しています。

第三者への配布及び公開、無断転載を禁じます。